

「井戸の日2009」開催報告

～(社)全国さく井協会近畿支部情報～

二〇〇九年(平成二十一年)十一月十日(火)に大阪ビジネスパークTWIN21アトリウム(大阪府中央区城見)において、一般の方に井戸の事(協会の働き)をもっと知って頂き、安全に利用できる自然の恵みである井戸水の有効活用の促進を目的に『井戸の日2009』が、自然の恵みと豊かな暮らしをテーマに、井戸の日実行委員会(社)全国さく井協会近畿支部)主催、(社)全国さく井協会共催、六十七社の協賛会社団体の協力により開催されました。

この催しは、二〇〇〇年から毎年富山県鑿井協会が開催し、二〇〇六年より(社)全国さく井協会の全国行事となり、北陸支部が中心となり行ってきましたが、今年が協会創立三十五周年ということで、全国にこの活動を広げたいという、全国展開第一弾として近畿で行われました。

当日は、子供から大人まで五六九名の一般の方の参加があり、抽選会も行われ、大盛況のもと終わりました。



Ecoフレンド

VOL.23

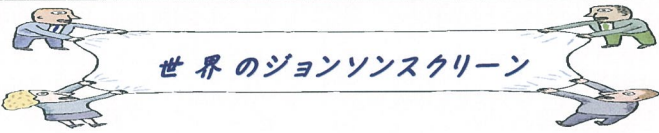
【発行】平成22年2月
富山県鑿井協会
〒930-0992 富山市新庄町一丁目十九番二号
☎(076)441-4257
Fax(076)441-4287
URL: <http://www.atw.ne.jp/~tomisaku/>
E-mail: tomisaku@atw.ne.jp

《プログラム》

- 10:00～ 開場
- 10:30～ 水道水 vs 地下水 利き水フェスティバル
井戸の相談室
- 15:30～ 開会の挨拶
- 15:40～ 協会創立35周年兼
『いい井戸の日』記念講演会
演題：京都千年の地下水
講師：楠見 晴重氏(関西大学学長)
- 16:40～ 徹底討論会
テーマ：『地盤沈下』・『地下水の適正な利用』
パネリスト：楠見 晴重氏(関西大学学長)
村崎 直樹氏(大和アークラン(株)社長)
遠矢 雄二郎氏((社)全国さく井協会理事)
地下水ユーザー及び一般の方
- 17:20～ 抽選会
- 17:50～ 閉会の挨拶
- 18:00～ 閉会



会長の脇雅史氏の挨拶に始まり、北陸支部長の内山祐治氏の挨拶、記念講演では二十年前より京都の地下水を研究されている関西大学学長の楠見晴重氏を招き、徹底討論会が行われ、最後に実行委員長森川俊英氏が、ご協力頂いた協賛会社様と来場された皆様にお礼の言葉を伝え閉会の挨拶となりました。



世界のジョンソンスクリーン

ジョンソン スクリーンズ ジャパン 株式会社
村松 寿夫

日頃は、協会の皆様には、大変にお世話になりまして、誠にありがとうございます。ジョンソンスクリーンは1904年アメリカ Edward E. Johnson Inc. によって開発されて以来、すでに100年以上も全世界の産業界でその品質が高く評価され、水井戸用・水処理/排水処理・石油精製・石油化学など幅広い分野において利用されています。

ジョンソンスクリーンズジャパン株式会社は、アメリカ、オーストラリア、フランスにあるジョンソングループの一員として、お客様にご満足いただける商品を供給させていただこうと邁進しています。水井戸用や消雪用などに使用されるジョンソンスクリーンは、①集水面積が絶大②揚砂現象が起こりにくい③強度、耐腐食性に優れている④長期使用が可能で経済的⑤容易な逆洗などの数々の特長を持っています。

生産工場は、静岡県裾野市という富士山のふもとの風光明媚な場所にあり、本社は神奈川県横浜市内の山下公園や中華街の近くにあり。横浜は昨年、開港150周年を迎えました。ここで少し横浜の歴史を振り返ってみますと、嘉永6年(1853年)のペリー来航により、江戸幕府は太平の眠りを覚まされ、その6年後の安政6年(1859年)に横浜は長崎、函館とともに開港されました。我々のオフィスに来ていただきながら、横浜情緒に接していただき、『街の灯りがとてもきれいなね』ヨコハマブルーライト・ヨコハマ』を味わうなんていうのも良いのではないのでしょうか。ぜひ一度、弊社にお越しいただきたいと思っております。今後も、よろしくお願ひ申し上げます。

自社PR



《編集後記》

今年の冬は「暖冬」との予測でしたが・・・。県内では地下水を利用した消雪設備が多く設置され、一斉稼働することで井戸がれ・地下水の塩水化・地盤沈下等の地下水障害が心配されるそうです。地下水は富山の貴重な資源・財産です。一人一人節水を心がけましょう!(^o^)/

総務部会

水みらいプロジェクト2009 協賛報告

平成二十一年十一月二十二日(日)午後一時よりサンシップとやま福祉ホールにて『水みらいプロジェクト2009』(水みらいプロジェクト実行委員会主催、北日本新聞社共催)が開催されました。この事業は小中学生を対象に「水」に対する興味を持ってもらい、「水・環境」の大切さを認識してもらおうというもので、子供たちへ「水」を通じた学びと感動を提供し、一人でも多くの人が環境問題やふるさと富山について関心・愛着を持ってもらえることを意図します。富山県鑿井協会は、「井戸」一〇番コナナ」を設け、来場者に井戸に関する相談や井戸の健康診断の方法等を説明して参りました。今後は「井戸の日」につなげることを目標とし、我々も子供達と共に学習するつもりで、取組み続けて行きたいと思っております。



～井カメラで井戸の内部を見る子供達～

富山県鑿井協会 技術講習会・懇親会

平成二十一年十一月二十七日(金)午後四時より富山第一ホテル二階(桂の間)において富山県鑿井協会技術講習会が開催されました。

まず、初めに(株)ウエルマンの小島輝雄氏より自社で開発・製作した、ローコスト・省スペース設計・使いやすさを追求



～講演者の説明を聞く参加者～

した「連続高速濁水処理機(試作機)について」の説明があり、午後四時四十分より(株)栗本鐵工所の渡部肇氏が「クリモト井戸管シリーズFRP(M)管」の商品PRを行いました。技術講習会終了後、十三階ルミエールにて秋の懇親会が開催され、正会員・賛助会員総勢二十二名の参加があり親睦を深めました。